

国民健康保険料の引き下げを求める陳情書

札幌市議会議長 様

《陳情趣旨》

札幌市民の32%の世帯が加入する、国民健康保険料は大変高く、多くの国保加入者が納付困難な状況に陥っています。年収の10%を超え、協会けんぽと比べても、2倍の高さです。そのため、生命保険を解約したり預貯金を取り崩して支払いに充てている人も出ています。

支払い困難になる要因は、平均保険料が据え置きとは言え、所得が減っているのも過度の負担になっているからです。10年間の比較では、1世帯平均保険料は、137,299円（H14年度決算）から137,760円（H24年度決算）と据え置かれています。加入者の平均所得は同時期では、131万円から95万円と27%もの減少があり、保険料負担が所得の10.5%から14.5%に引き上がっているのです。過酷な負担増であり、支払い困難者が増加する一方です。

市長も、2011年2月13日第1回定例議会で「他保険に比べて決して安くはない。国保の加入者の負担感というものもまた非常に強い」と認めています。

国保料の支払いのために暮らしが困難になるという逆転現象をなんとしても食い止める必要があります。国保料の大幅引き下げを求めます

《陳情項目》

一、国民健康保険料の引き下げを行うこと。

氏名	住所

取り扱い団体

よびかけ団体

札幌社会保障推進協議会
札幌国保・介護・後期高齢者医療110番連絡会

連絡先

(札幌社保協) 823-0867
白石区菊水3条3丁目井上ビル